

「誰がゲームで戦っているのか」

インターハイを目指す戦いが始まろうとしています。そのゲームでは誰が戦っているのでしょうか。

目に見える形でコートやフィールドで「プレイ」しているのは、試合に出場している選手であることは言うまでもありません。しかしながら、目に見えない形で戦いに参加する選手が確実に存在するのではないのでしょうか。大会直前のこの時期に、そのようなことも考えてほしいと思います。

インターハイを目指す以上、チームが勝ちに行くことは当然であり、チームの状況によっては、コートやフィールドでプレイすることが許されない3年生の選手も存在するのではないかと察します。そのような選手が、心の底から勝利を願いながら懸命に練習し、ベンチ内外から声が枯れるほど声援を送っているのであれば、私は、そのような選手のことを一人間として尊敬します。

コートやフィールドに立つことが許されなかった3年生の選手は、自分の価値を最後まで示してほしいです。そして、コートやフィールドに立つことが許された選手は、その価値ある選手の代わりに立つ以上、勝利を諦めるプレイや、ハードワークしないプレイをする理由はないものと考えてほしいです。

そのようなカルチャーがこの空間で形成され、皆さんのチームの戦いが一日でも一分一秒でも長くなることを心から祈ります。